

介護ロボット普及推進事業

事業の狙い・背景

- ◆ 今後の人口減少と高齢化の進展により、更なる介護従事者不足が見込まれている。
- ◆ そういった中、介護ロボットの活用による介護職員の負担軽減や、効果的な自立支援の提供が求められる。令和3年度介護報酬改定に関する審議報告においても、今後の課題としてテクノロジーの幅広い活用が明記されるなど、国も介護ロボットの普及推進を進めているが、現状十分に進んでいるとは言い難い。
- ◆ その理由として、高額であり、効果が不明な状況で容易に購入しにくいことが考えられる。実際、補助金等を活用して導入しても、上手く使えず、すぐに使用されなくなるケースも多い。

事業の趣旨・経緯

- ◆ 市内介護事業所に、無償で介護ロボットを貸与（3カ月間）することで、介護ロボットの市内事業所への普及や介護ロボット活用による介護職員のスキルアップを図る。
- ◆ また事業所からの実績報告を元に、効果的な介護ロボットの活用を明確化し、国に制度化を提言する。
➔ 平成30年に厚生労働省と協議し、地域医療介護総合確保基金を活用して、令和元年度から事業実施。

